

## 投影図と重心の幾何 第3版 への正誤表 '94. 4. 25.

現在使っているものでこの本も、第3版を数えます。

- 第1版は、「中学の幾何 II」という名で、3年分(500部)刷り、
- 第2版は、いまの書名に改めて、'350部刷り、'92,'93年度に使い、
- 第3版は、'93年10月に2年分刷りました。

本は版を重ねるたびに訂正を加えますので、間違いが減って行きますが、この本もその例外ではありません。しかし、記述の改良によって他の間違いが紛れ込んだこともあって、間違いがまったくなくなったわけでは、残念ながら、ありません。

第2版への改訂は、1970年以前に作られていた「中学の幾何II」に従って第1版で入っていた、「軌跡と作図」(第1章)を削除し、手書きを文字のほとんどをワープロ化しました。また、第1版では第1角法を用いていたものを、第2版では入りやすさを重視して、第3角法に改めました。しかし、補充問題として収めていた過去問などは、第1角法のままとなっていました。

第3版では、過去問として、第3角法で出題した'92,'93年度のものを含めることができ、混乱を防ぐことができました。また、以前は3学期にプリントとして配っていた高校での幾何 予告編を含めました。これで、第2版で欠いていた軌跡についての記述が、座標との関わりであるにしろ、本の中に収めることができました。なお、「円の包絡線を書いてみませんか」は第2版からのものです。

分かっている範囲での正誤表を記しておきます。(他、気付いたら教えて!)

- p. 77 4行目:  $n \geq 3$ のとき      は       $n > 3$ のとき      の誤り。
- p. 78 [2] 第3角法に直し損ねて、第1角法の問題が残ってしまったもの。  
授業では、図を第3角法に直し拡大したものを WORK SHEET として配る予定です。
- p. 151 [ p. 87 [5] の答 ]

問題は、第1角法でも、第3角法でも見かけ上同じですが、答えを第1角法で記したもののままにしています。そのため、陰陽が逆に。